

令和7年度 第2回めぐろプレ子ども・若者会議報告書

1 実施概要

日 時：令和7年9月13日（土） 13：10～15：10

開催場所：総合庁舎2階A会議室

参加者：8名

2 タイムテーブル

時刻	内容
13：10	開会
13：10～13：30	「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を1からつくる（第1回の続き）
13：30～14：00	模擬会議 議題：「未来の目黒をプロデュース!!『めぐろスマイル会議』を広く知ってもらうには
14：00～14：05	休憩
14：05～15：10	「未来の目黒をプロデュース!!『めぐろスマイル会議』のロゴを1からつくろう
15：10	閉会

3 会議概要

タイムテーブルに沿って、会議の様子を紹介します。

●「めぐろ子ども・若者会議（仮称）」を1からつくる（第1回の続き）

第2回は定刻より遅れての参加が多い状況であったため、10分繰り下げての開始としました。

はじめに、第1回で決定した内容と今回の会議で話し合う内容を確認し、検討をスタートしました（画像1参照）。

【前回決定項目】

- ・会議名称について

未来の目黒をプロデュース!!

『めぐろスマイル会議』

- ・会議の内容について

- － 参加者の年齢層を「高校生から25歳まで」にすること
- － 参加人数を「10人程度」にすること

【検討項目】

- ・会議の内容について

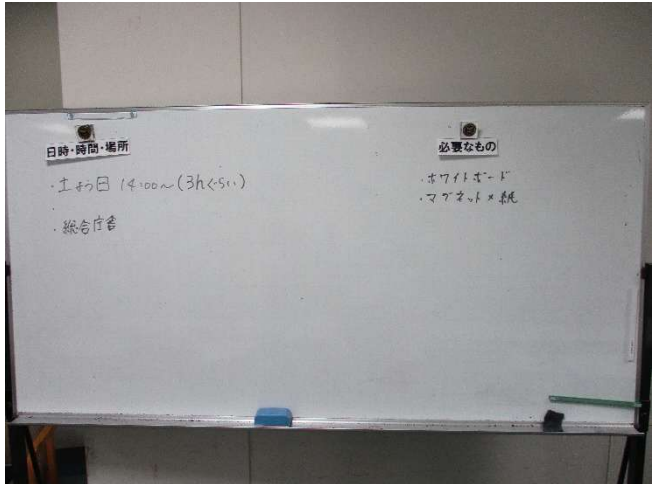
★今日の会議で話し合うこと

- ▶ 名称
- ▶ 開催の形式（例：対面）
- ▶ 開催する曜日・時間帯・時間（例：土曜日・午後・2時間）
- ▶ 開催する場所（例：総合庁舎）
- ▶ 参加する人数（例：10人）
- ▶ 参加者の年齢層（例：高校生～25歳）
- ▶ 会議に必要なもの（例：ホワイトボード・ふせん）

画像1 会議で話し合うこと

【検討項目：会議の内容について】

- ・まず、時間に対する意見が出ました。「土曜日はよいと思うが、13時は集まりにくい」「14時くらいがよい」との意見が出る中、「土曜日に学校があることを考えてもらえれば」と授業や部活がある人も参加しやすい設定としたほうがよい旨の意見も出ました。また、会議の時間は「2時間ではなく、3時間と設定し、結果的に短くなる方がよいのではないか」との意見が出ました。時間は「土曜日で、14時から3時間程度」で話がまとまりました。
- ・次に、場所は「総合庁舎」と「区民センター」が候補にあがりました。「人数によって変わるかもしれないが、10人程度であれば総合庁舎が妥当と思う」との意見に賛同が集まり、場所は「総合庁舎」の会議室で話がまとまりました。
- ・最後に、会議に必要なものでは「ホワイトボードは必須」との意見が出る中、「第1回では考えたものを付せんに書いていたが、ホワイトボードに貼り付けるためにはマグネットがほしい」との意見が出ました（画像2参照）。また、発表に向けた準備で使用する電子機器は「使い慣れた機材でやりたい」との意見で一致しました。
- ・意見が落ち着いてきたところで、「人数が少ない状況で話をしたため、この場に参加できていない人の意見も聴いてみたい」との意見が出ました。この意見を受け、話がまとまった内容をあらためて参加した皆さんに案内しました。



画像2 意見を出し合いまとめていきます

● 模擬会議

模擬会議は、令和8年度以降の会議開催に向け、どのような形で会議を進めていけばよいかというイメージづくりの一助とするために実施しました。テーマは「『未来の目黒をプロデュース!!『めぐろスマイル会議』を広く知ってもらうには』としました。

まず、模擬会議を進める前に、このテーマを設定したワケを参加した皆さんに説明しました。ワケの1つは、第1回において会議の名称を決めていく中で、この会議体を広く知ってもらいたい旨の会話が出ていたこと、もう1つは、区としても多くの応募があってほしいという思いがありました。この思いが参加した皆さんと区で一致していたため、設定したことを話しました。

次に、参考として、今回開催の「めぐろプレ子ども・若者会議」における募集の流れや周知方法を説明しました（画像3参照）。



画像3 模擬会議のテーマを確認します

【会議を進めてみる】

- ・冒頭は参加した皆さんそれぞれの意見やアイデアを出し合う形で進めていましたが、途中で書記を選出し、出し合った内容をまとめていきました（画像4参照）。
- ・意見の多くは、SNSと区の周知に関することでした。このほか、興味・関心の問題として、募集に当たっては「興味がある人しか集まらないのではないか」との意見も出ました。

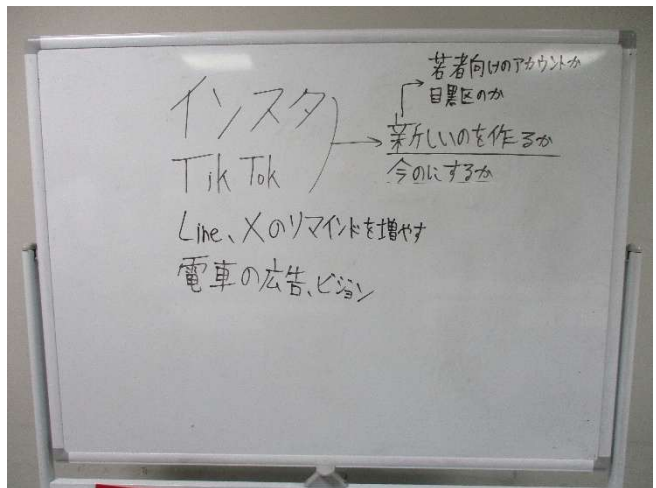


画像4 書記が意見やアイデアを書き留めます

【意見やアイデアをまとめてみる】

出し合った意見やアイデアを次のとおりまとめました（画像5参照）。

- ・SNSは使い分けができる。興味がない人向けであればTikTok、きちんと情報を知りたい人向けであればInstagramになると思う。
- ・新しいSNSをつくるか、今あるものを改善するかの流れになるのではないかな。
- ・区としてつくるか、若者向けのアカウントとしてつくるか。
- ・LINEやXのリマインドを増やす。
- ・区報（特集）とのコラボがよいのではないかな。
- ・電車の広告・ビジョン（東横線や目黒線）に掲載してはどうか。



画像5 意見やアイデアをまとめました

●「未来の目黒をプロデュース!!『めぐろ
スマイル会議』」のロゴを1からつくろう

ロゴは広報広聴課職員の協力のもと、レクチャー
とワークショップの2部構成で実施しました。ロゴ
を1からつくることも今回の「めぐろプレ子ども・
若者会議」ならではのプライスレスな体験のひとつ
です。



画像6 ロゴデザインの基本を学びます

【レクチャー】

- ・具体例を取り上げながら、「ロゴデザインに対する心構え」、「ロゴの発想方法」、「ロゴ制作のフロー」を中心に説明しました（画像6参照）。
- ・「ロゴデザインに対する心構え」では、ロゴは伝えたい想いを凝縮したコミュニケーションツールであり、制作者が作りたいマークを作ることではないことを話し、他者の視点に立ってロゴを考えてみるのが重要とのメッセージを伝えました。
- ・「ロゴの発想方法」では、理念・ビジョンから発想（会議のテーマや目指す未来をキーワード化し、それを象徴する形やモチーフに落とし込む）のほか、文字から発想（会議名の頭文字や略称をデザイン化する）など複数の方法があることを話しました。
- ・「ロゴ制作のフロー」では、まずは目的・コンセプトを整理の上、誰に向けて何を伝えたいか、どのような印象にしたいかを明確にすることが重要であることを話しました。整理後には、類似のロゴをリサーチすることや、ラフスケッチを重ね、複数の案を描いていくという流れを話しました。また、制作の注意点として、モノクロでも見やすく、シンプルな形にすることなどを話しました。

【ワークショップ】

- ・「ロゴ制作のフロー」に基づき、まずは目的・コンセプトの整理を目指し、意見やアイデアを出し合いました（画像7参照）。
- ・意見やアイデアでは、会議からイメージできることやキーワードのほか、目黒で思いつくものなどが出ました（下表参照）。



画像7 目的・コンセプトの整理に向け、意見やアイデアを出し合い、共有します

（参加した皆さんから出た内容）

・伝えたいことは未来の目黒をプロデュースではないか ・1人ではない感じはあってもよいのではないか ・みんなでスマイル、目黒のスマイルで、結局1個のスマイルになるのではないか ・フレッシュさ	・明るい ・Welcome ・リーダーシップ ・しじゅうから ・目黒っぽさ ・桜・川・さんま
--	--

【その他】

- ・ロゴのワークショップ途中で、タイムアップとなりました。このため、参加した皆さんに追加開催希望の意見を求めたところ、全員から希望がありました。この希望を受け、追加開催することにしました。ワークショップでの意見やアイデアを参考にしながら、ロゴのアイデアを各自持ち寄り、次回の会議（令和7年12月上旬）で話し合います。

以 上